

政策会議付議事案書 (令和5年7月4日)

提案課名 スポーツ推進課

報告者名 北口 慶太

<p>事案名</p>	<p>「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた基本合意の締結及び「はだのスポーツビレッジ構想案」について</p>	<p>③ 資料 無</p>
<p>目的・必要性</p>	<p>令和3年4月に特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ等と本市が締結した「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」に基づき、渋沢丘陵一帯の活性化の拠点とする「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた基本合意を締結するとともに、基本構想案の策定を進めるものです。</p>	
<p>経過・検討結果</p>	<p>令和3年4月～・湘南ベルマーレ等と「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」を締結          ・協定に基づく様々な連携事業を実施するとともに、総合計画の基本施策である242スポーツ環境の充実「渋沢丘陵周辺などでの適地の調査、整備の検討」を進める。          令和5年5月 ・会派懇談会にて「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた検討について説明</p>	
<p>決定等を要する事項</p>	<p>特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブと「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた基本合意を締結するとともに、その取組みを進めるための基本構想として、「はだのスポーツビレッジ構想案」の策定を進めること。</p>	
<p>今後の取扱い</p>	<p>令和5年7月4日 部長会議に報告          同年7月14日 議員連絡会に報告（基本合意の締結及び「はだのスポーツビレッジ構想案」について）          同年7月15日～ ・「はだのスポーツビレッジ構想案」に対する市議会議員の意見聴取（7月15日～8月21日）          ・「はだのスポーツビレッジ構想案」に対するパブリックコメントの実施（7月15日～8月14日）          同年7月下旬 「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた基本合意を締結          同年7月～ はだのスポーツビレッジ整備に向けた公民連携手法について、その手法等を検討するとともに、湘南ベルマーレスポーツクラブと連携し、「はだのスポーツビレッジ基本計画」の策定に向けた調整を行う。          同年8月上旬 市政懇談会（南地区、西地区）において、「はだのスポーツビレッジ」について市政報告          同年8月下旬 「はだのスポーツビレッジ構想」を策定</p>	

## 「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた基本合意

秦野市及び特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブは、令和3年4月8日に締結した「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」に基づき、渋沢丘陵一帯の活性化の拠点とする「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けて、次の事項を確認し、お互いに協力して、その実現に向けた取り組みを行うものとする。

- 1 「はだのスポーツビレッジ」は、秦野市と総合型地域スポーツクラブである特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブの持つ力を有機的に連携し、渋沢丘陵一帯の魅力を引き出し、広域・公民連携による「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウェルネス」な環境づくりを図るための拠点施設とする。
- 2 事業の推進に当たっては、総合型地域スポーツクラブである特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブを中心とした公民連携手法及び民間活力の活用を基本とし、施設整備及び運営は民間主導、周辺のインフラ整備は秦野市主導を基本的な役割分担とする。
- 3 施設整備及び運営に当たり、秦野市は、企業版ふるさと納税制度の活用について協力する。
- 4 供用開始時期は、できる限り早期実現を目指し、双方努力する。
- 5 事業内容の詳細は、今後、秦野市と特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブで内容を協議し、協定を締結することとする。

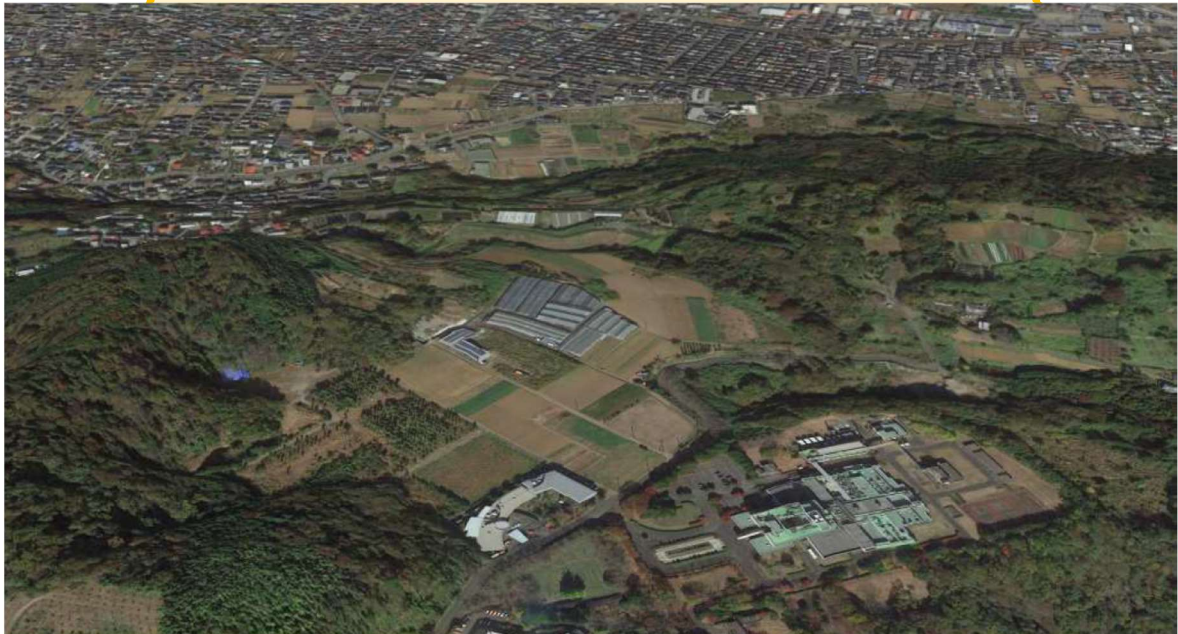
令和5年 月 日

秦野市長 高橋 昌和

特定非営利活動法人  
湘南ベルマーレスポーツクラブ  
理事長 雲出 哲也

## はだのスポーツビレッジ構想（案）

広域・公民連携による  
「スポーツ」を通じた地域活性化と  
「ウエルネス」な環境づくりへの挑戦  
～**渋沢丘陵**を**スポーツの里**へ～



令和5年 月  
秦 野 市

## 広域・公民連携による「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウエルネス」な環境づくりへの挑戦～渋沢丘陵をスポーツの里へ～

### 1 はだのスポーツビレッジとは

渋沢丘陵一帯は、本市、中井町、大井町及び松田町の1市3町の境界にある丘陵地域ですが、さまざまな地域資源があるにもかかわらず、エリアのポテンシャルが発揮されていない状況にあります。

本市では「渋沢丘陵利活用方針」を策定し、地域特性や資源を生かした新たな価値創出などの取組みを進め、また、本市と「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」を締結している特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ（以下「湘南BSC」という。）では渋沢丘陵の地域資源を生かしたスポーツツーリズムの取組みを進めています。

そのような中、湘南BSCからの申し出により、本市と連携して、渋沢丘陵一帯の魅力を引き出し、地域活性化につなげていくための拠点として、「はだのスポーツビレッジ」の整備の検討を行い、渋沢丘陵一帯の広域・公民連携による「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウエルネス」な環境づくりの実現に向けた取組みを進めるものです。

### 2 渋沢丘陵一帯のエリア

渋沢丘陵一帯には、次のようなさまざまな地域資源や拠点が点在します。

- ・「震生湖」、「頭高山」、「栃窪スポーツ広場」（秦野市域）
- ・「中井中央公園」、「湘南オリーブ園」、「MTBコース」（中井町域）
- ・「サーフビレッジ ラ・レイエス」、「未病バレービオトピア」（大井町域）

また、エリア内は、魅力あふれるハイキングコースが多くあるほか、アップダウンが多くサイクルスポーツには適した地形です。中井町には自転車の有名メーカーもあり、自転車との親和性に優れた土地柄といえます。



### 3 渋沢丘陵一帯の活性化に向けた広域・公民連携コーディネーター

渋沢丘陵一帯は、市町境に位置することや、公共・民間の施設が混在していることから、これらを有機的に連携させ、さらなる魅力を引き出すためのコーディネーターには、スポーツや健康に関するノウハウを持ち、非営利活動を行う団体が適しており、総合型地域スポーツクラブである湘南B S Cは、渋沢丘陵一帯の活性化に向けた広域・公民連携コーディネーターとして最適といえます。

※1 総合型地域スポーツクラブは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。  
それぞれの地域において、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たしています。

### 4 「はだのスポーツビレッジ」整備に向けた基本的な考え方

- 公民連携手法の活用及び民間活力の導入による整備・運営とし、市民をはじめ多くの人が集い、交流し、楽しめる施設とします。
- スポーツの持つ力を最大限発揮できる拠点とし、「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウエルネス」な環境づくりを進める拠点とします。
- サイクルスポーツの普及やスポーツツーリズムの推進のための拠点とし、渋沢丘陵一帯を「スポーツの里」として楽しめる地域とします。

### 5 「はだのスポーツビレッジ」の基本的な機能

- 市民がスポーツを楽しめる場を提供することにより、本市のスポーツ環境を一層充実させます。
- 「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」を締結した湘南B S Cほか民間が持つノウハウを活用したスポーツプログラムや教室事業を展開します。
- 広域・公民連携による渋沢丘陵一帯の地域資源や施設を活用した大会の開催や、サイクルスポーツ、スポーツツーリズムの拠点とします。
- スポーツの持つ力を最大限発揮させ、地域活性化や賑わいの拠点とします。



## 6 「はだのスポーツビレッジ」の概要及びイメージ

(1) 地番

平沢 2408-1、-2 ほか

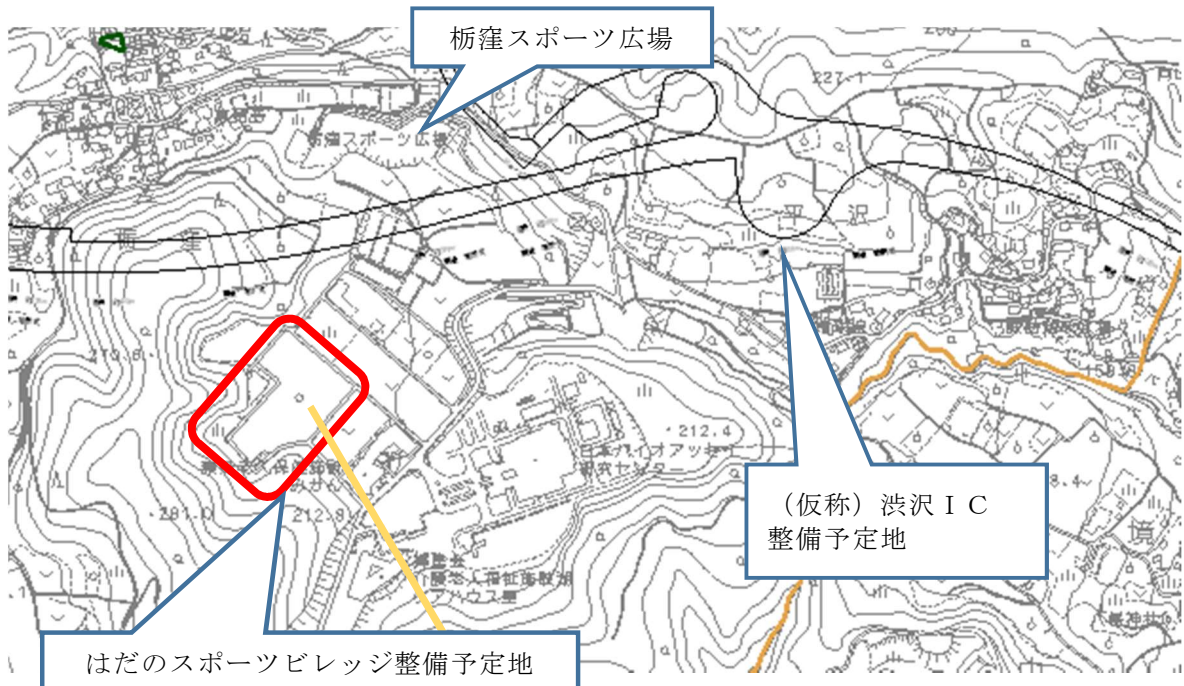
(2) 面積

約 15,000 m<sup>2</sup>

(3) 施設

天然芝グラウンド（サッカー利用を中心とした多目的グラウンド）、パークゴルフ場（9ホール）、ビーチバレーコート、管理棟ほか

### ○位置図





## 7 農業振興地域の整備に関する法律上の課題の整理

整備予定地は農振法に基づく農用地区域に指定されていますが、本市では総合計画において、スポーツ広場整備の検討を位置付けているとともに、農用地の集団性、栽培環境、用排水（農業用施設）などへの影響もないと認められることから、同法第15条の2第1項の規定に基づき、「地方公共団体が地域振興上必要性が高いと認められる施設」として整備に向けた調整を行います。

## 8 はだのスポーツビレッジの事業フレーム

はだのスポーツビレッジの整備については、「はだのスポーツビレッジ整備に向けた基本合意」に基づき、今後、次の基本的な方針のもと、詳細な基本計画の策定及び基本協定の締結に向けて検討・調整を行います。

- 「はだのスポーツビレッジ」は、「負担付き寄附」及び「企業版ふるさと納税」の手法を組み合わせた公民連携手法により進めます。民間が土地及び施設を本市に寄附。寄附者が指定する者により長期間、管理運営を行います。
- 整備資金については、湘南BSCを主体とした構成団体が独自の資金調達により整備するとともに、企業版ふるさと納税制度を活用することとします。
- 秦野市の役割・支援として、一般的な期間を超えた長期の指定管理者の指定、企業版ふるさと納税制度の適用支援、周辺のインフラ整備を行います。

## 【参考】

秦野市は、市内小田急線4駅周辺にぎわい創造の取組みの一つとして、渋沢丘陵とその周辺にある様々な地域資源や取組みを効果的に活用・連携させ、秦野駅・渋沢駅周辺エリアや秦野中井インターチェンジを結びつけるとともに、将来的に開通が予定される国道246号バイパス渋沢インターチェンジ(仮称)も見据えながら、渋沢丘陵の利活用に関する方針を策定することで、地域の活性化につなげ、本市の持続可能なまちづくりを実現していくことを目的に「渋沢丘陵利活用方針」を定め、各取組みを展開していくこととしています。

### 渋沢丘陵利活用方針

#### 【コンセプト】

豊かなみどりに包まれ、人と自然が調和したウエルネスな日常の創造

#### 【基本的な方針】

- ①自然環境の維持・保全
- ②安全・安心で快適な施設・設備
- ③市民の憩いの場となる利活用
- ④地域特性や資源を生かした新たな価値創出
- ⑤戦略的な情報発信

NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブは、国の補助金を活用し、「緑の湘南ウエルネス・オリーブ園と丘陵スポーツのツーリズム事業」に取組み、行政と協働して、様々なスポーツツーリズムプログラムを構築することとしています。

### 緑の湘南ウエルネス・オリーブ園と丘陵スポーツのツーリズム事業

#### 【事業の概要】

秦野市・中井町・大井町・松田町に広がる渋沢丘陵をベースにスポーツ及びウエルネスを柱としたスポーツツーリズムを展開していく。広大なオリーブ農園、地域のマルシェ活動なども組み込み大自然を舞台に、地域全体をパビリオンとして「スポーツツーリズム」を、健康をテーマにジョイントさせた「フード&スポーツツーリズム」を構築する。また、農業適格法人ファームビレッジ湘南が協働し、農泊とスポーツツーリズムを合体させるという新たな観光コンテンツを構築する。



## 「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けた基本合意

秦野市及び特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブは、令和3年4月8日に締結した「スポーツによる元気で健康な地域づくり包括連携協定」に基づき、渋沢丘陵一帯の活性化の拠点とする「はだのスポーツビレッジ」の整備に向けて、次の事項を確認し、お互いに協力して、その実現に向けた取組みを行うものとする。

- 1 「はだのスポーツビレッジ」は、秦野市と総合型地域スポーツクラブである特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブの持つ力を有機的に連携し、渋沢丘陵一帯の魅力を引き出し、広域・公民連携による「スポーツ」を通じた地域活性化と「ウェルネス」な環境づくりを図るための拠点施設とする。
- 2 事業の推進に当たっては、総合型地域スポーツクラブである特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブを中心とした公民連携手法及び民間活力の活用を基本とし、施設整備及び運営は民間主導、周辺のインフラ整備は秦野市主導を基本的な役割分担とする。
- 3 施設整備及び運営に当たり、秦野市は、企業版ふるさと納税制度の活用について協力する。
- 4 供用開始時期は、できる限り早期実現を目指し、双方努力する。
- 5 事業内容の詳細は、今後、秦野市と特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブで内容を協議し、協定を締結することとする。

令和5年 月 日

秦野市長 高橋 昌和

特定非営利活動法人

湘南ベルマーレスポーツクラブ

理事長 雲出 哲也

## はだのスポーツビレッジ構想

編集・発行

秦野市 文化スポーツ部 スポーツ推進課

秦野市平沢148（秦野市カルチャーパーク管理事務所内）

TEL：0463（84）2795

FAX：0463（73）6461

E-mail：sports@city.hadano.kanagawa.jp

協 力

特定非営利活動法人 湘南ベルマーレスポーツクラブ